



石狩川

～開拓者たちを内陸に運んだ悠久の「道」～



大雪山系を源とし、上川、空知、石狩の大平野を形成して日本海に注ぐ大川。北海道開拓の歴史の中で、度重なる洪水と闘いながらも、交通・物資輸送の道として大きな役割を担い、また、鮭漁など北海道の歴史と文化が刻み込まれている母なる川。石狩川の地引き網漁は江戸時代に始まり、昭和期には遠方からも多くの見物客が訪れたほどである。